

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 501

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



あんず班全員で、歩いて上水本町にある上鈴木稲荷神社に初詣に行ってきました。写真は稲荷神社の横にある境内社の須賀神社で撮ったものです。

初詣

あさやけ作業所

新年おめでとうございます
新しい年が皆さまにとりまして幸多き年になりますよう
心よりお祈り申し上げます

旧年中は大変お世話になりました 厚く御礼申し上げます

一昨年二月から始まったコロナ禍での生活、昨年うちに収束するかと期待したのですが、ここに来てまたまた感染者が急増し、「第六波」到来との声が聞こえてきます

振り返ってみますと、「わいわいバザール」は二年連続で中止となり、各作業所で行っていたミニバザーも中止を余儀なくされ、廃品回収も状況によって中止・実施が不規則となり、ご迷惑をおかけしました。かろうじて「アートフェ

スティバル二〇二二」を十月に開催することが出来ましたが、地域の皆様と直接お会いして交流する機会が激減し、礼を失した一年となつてしまったと心を痛めております。

そんな中、廃品をわざわざ作業所まで持ってきて下さったり、コロナ禍の減収を何とか補おうと始めたネットでの販売にもご協力下さった方が大勢いらっしゃり、今まで以上に皆さまに支えられての一年であったと、改めて感謝の思いを深くしております。

新年を迎えて

社会福祉法人ときわ会
理事長 遠山 陽子

新年を迎え、本年もあさやけ開所当初からの目標「ゆたかな労働と生活の場の提供」「すべての人が 安心して自分らしく豊かに生きられるために」を、法人関係者一同で歩みを進めて参ります。

過日お伝えしました上水南町に建設中の就労移行支援・就労継続支援B型の作業所建設はコロナの影響で資材の入荷がままならず、若干の遅れが予想されますが、施設名も「あさやけ喜平橋食堂」と決まり、着々と準備を進めているところです。開所しました折りに

は皆様とまた新しい出会い、繋がりが生まれるよう努力してまいります。

また、作業所開所時に十八歳だった青年も、高齢者の域に入っています。当法人では三十数年前から自立生活の場、親なき後の生

活の場を見据えて共同ホームにも力を注ぎ今現在六カ所運営していますが、まだまだ利用者さん、親御さん、地域の皆さんの要求に答えきれっていません。このことについても一層努力をする所存です。

どうぞ社会福祉法人ときわ会への叱咤激励をよろしくお願いいたします。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



期待の新人

山崎 建侑さん

(あさやけ鷹の台作業所)



田無特別支援学校を卒業して、昨年四月から鷹の台の仲間になりました。ほしほしものがいっぱいあり、給料をためてiPadやプラレールを買うという目標を持っていきます。昼休みにはCDを聞く時間があり、毎日好きなCDを持ってきますが、どうやらお母さんのものを選んでくるようで、少し年代の古いもの(失礼)が多いです。

入所当初は混乱して不安定になり、自傷や物の破壊、作業を取り組めないということもありましたが、今ではそれもほとんど見られなくなりました。作業所の生活に慣れて、見通しが持てるようになったのではないかと感じていきます。正直言つて入所当初の様子から、慣れるのに一〜二年はかかるかな、と思っていました。

半年ですっかりなじんでいる姿を見ると、対応する力があり、もう新人とは言えないぐらいです。

仕事をしないと給料が減る、ということがわかると、すっかり仕事を取り組むようになつたり、アートフェスティバルで自分の作品が展示されていないと絵画活動に意欲を見せたり、うまくいかなかった経験を、次につなげられる力を持っています。この力を生かして、作業所でもっともっと活躍してくれることを期待しています。





この冬は寒さが厳しく、サングリーンでは年末に水道が止まるというハプニングもありましたが、無事に新年を迎えました。

一月五日の新年会では、今年新人の仲間入りしたメンバーのお祝いもかねて、みんなでお寿司をいただき、今年の抱負を絵馬にしたためました。

「歩みを止めない一年にする」「ライブにいくグッズを買う」「一日一日を大切に」「世界中のコロナが早く収束しますように」「新しい経験をしよう」「いい出会いがありますように」「仕事ができますように」「前進あるのみ」健康で働けるように願っております」「年内就職」

サングリーンでは現在縫製の受注が急増し、サングリーン全体で縫製作業にあたっています。コロナ禍で不安な状況は続きますが、職員メンバーともに健康に注意しながら協力して乗り切っています！



あさやけ第二作業所
大野 真砂花 (筆利用者ペンネーム)

私が「あさやけ」に入ってから、早いもので、三十年経ってしまっただ。みんなに支えられたり、自分自身が嫌になったりもしたが、長い作業では、チラシ六枚から九枚を組んでゆくものだった。紙を重ねて行くのは手を切ったり、思ったより難しかった。内職で主婦が、片手間にする場合もある。か。それまでと違って面倒もあるけど社会の波に洗われて緊張をする場合もあったけれど、それなりに楽しかった。

昨年九月からは、安定した仕事がなくたって、みんな大変だが、頑張っていると思う。少しずつ代わって行く仕事に挑戦したいです。メンバー、職員の方、それなりに団結して楽しい職場にしたいと思う。



あさやけ風の作業所

世界的にコロナの感染が広がったこの二年間は、誰もが生き伸びることそのものを突きつけられてきた日々ではなかったかと思えます。

感染予防のための活動は最小限となりましたが、その中でも新しく加わった人あり送り出した人あり、終わってしまった仕事あり新しく試す仕事あり、ささやかなイベントや生活についての相談事：日々は盛りだくさんに濃密に過ぎて行きました。

二〇二二年、人同士の距離を取らなくてはいけない毎日はまだ続きそうですが、心は寄せ合ってきた新しい一年を生き延びて行きたいと思えます。

それぞれの人生にあさやけ風の作業所とのつながりがあった良かったと思ってもらえるように。



あさやけ作業所

ふきんを作っているコアラ班の二〇二二年は、「ズバリ」ふきをたくさん売る！」です。コアラ班では治具という正確に縫うためのガイドを使ってふきんを縫っています。ここ数年、ふきを縫う技術は向上し、たくさん作る事ができるようになりました。今の課題は、ふきを「売る」ことです。今年度から商品開発担当を決め、どうしたら売れるか、新商品の開発などについて話し合っ進めてきました。お客様の声で良く聞くのが、「丈夫だからまだまだ使えるのよね」です。では、プレゼント仕様にして広めて貰えたら。フルーツや花柄のラッピングしたり、力が弱い人や手の小さい



地域生活支援センターあさやけ

支援センターあさやけメンバーより

時々、顔を出したいと思うので、よろしくお願いします。

Y・I

今年もマイペースに。しかし、そのマイペースを上げていきたい。

石川正孝さん

いい年でありますように！

HIDEKI TANAKAさん

毎日、夜の0..30までに寝る。

梅田謙一さん

今年も力の限り精一杯がんばれたらいいな。自分の障害がはつきりすれば心も楽にしたい。

M・Nさん

今年もプラス思考で！

M・Mさん

できるだけいい笑いを！

T・Iizukaさん



雪の中、八坂神社へ初詣



人でも使いやすいミニふきんも考えました。皆が健康で仲良く、ポータスアップを目指して頑張る。コアラ班のふきんを今年もよろしくお願いします！



あさやけ鷹の台作業所

二〇二二年は仕事を頑張る一年にしたいです。

昨年はコロナでイベントができたなかったので、宿泊旅行やバザー、夏のポータスのイベントがやりたいです。

仕事で封入、とじ、ラベル、また自主製品に取り組み、お給料のお金をもらいたいです。

ポータスが夏冬出ることを目指し、仕事を全力で頑張ります。また、みんなと仲良く仕事がしたいです。

自治会役員として、作業所のイベントや作業所内の他のことも決めていきたいです。

二〇二二年も頑張りたいと思います。

あさやけ鷹の台作業所 自治会
はたらく友の会 一同



あさやけだより 500号

1976年10月～2021年12月

○ガリ版刷りのあさやけだより

先月号で500号を達成したあさやけだよりですが、そこに含まれていない「ガリ版刷りのあさやけだより」が10号まで発行されていました。丸文字の正確な手書きは、大学を卒業して無認可の作業所に飛び込んできた職員の松浦公子さんの字です。10号の内容は、廃品回収・カンパ活動・バザー案内など作業所を維持していくための資金活動が中心です。近況で「新聞、雑誌等キロあたりの値が少し上がりました」と囲みが、当時の状況がよく伝わります。



○仲間紹介のタイトル「ひとりひとりが太陽」

ときわ会で働く仲間たちを紹介するものとして1996年4月号No.218から登場しました。最初の仲間は当時あさやけの作業所に所属していた桜田正之さんでした。その後毎月掲載されましたので、280名ほどの仲間が紹介されたこととなります。タイトルの「ひとりひとりが太陽」は1979年10月小金井公会堂で於いて初演された音楽構成「あさやけの仲間たち」のなかの「みんな太陽」の歌詞から引用しています。

みんな太陽 作詞・作曲／はたけやまはるき

さみしくたって かなしくたって
両手いっぱいひろげて あるいていこう
ぼくらはいつでも さわやかなところで
新しい明日を 照らしてゆこう
ぼくら ひとりひとりが太陽 真っ赤な太陽
ひとりひとりが太陽 燃えあがれ
君も 君も みんな太陽さ



ホームの年末年始

恒例のクリスマス会 共同ホーム一歩

12/24のクリスマスイヴ、一歩でささやかなクリスマス会を行いました。

例年は、いつもより少し豪華な夕食をみんなで食べたり、ご家族や学生アルバイトさんなどを呼んで、一緒にクリスマスソングを演奏・歌ったりと、一歩にとってクリスマスは、一年で一番賑やかで楽しいイベントです。

今年は昨年同様、新型コロナウイルスの影響でご家族などを呼んでの会とはいきませんでした。が、父母会からの差し入れのケーキを含めたおいしいクリスマスメニューや、サプライズでちょっとしたクリスマスプレゼントが配られると、みんなニコニコ。ささやかですが、笑顔あふれる一日となりました。

来年こそは、また大勢集まって賑やかなクリスマスができますように…!



お正月を一緒に過ごす 共同ホームつくしんぼ・こげら

年末年始、昨年までつくしんぼの内倉さんは近隣施設のショートステイを利用、共同ホームこげらの坂田さんは帰省をしていました。

今年は新たなとりくみとして、つくしんぼとこげら支援のもと、お2人は共同ホームこげらで過ごすことになりました。内倉さんはこげらは初めてでしたので、安心してもらえるよう事前に見学してもらい、わからないことがあれば相談をしました。

年末年始は時間があるので、小金井公園への散歩・国分寺へ外食などをして過ごしました。

今まで自宅に帰りお母さんと過ごしていた坂田さんは、今回こげらで過ごすのは初めてです。初日は違う環境に落ち着きのない様子でしたが、翌日はいつもの坂田さんに戻り外食を楽しみました。また、支援者に自分から要望をしっかりと伝えていました。内倉さんは初めの頃こげらの職員と話すのは緊張していましたが、次第に慣れ日中はリビングでテレビを見て、支援者とおしゃべりをして過ごすこともありました。帰る際は落ち着いた表情で手を振ってくれました。今回お2人にとって少しでも楽しい記憶が残ってくれたら嬉しいです。



あさやけだより **500**号

1976年10月～2021年12月

それは日本の障害事情証言集

藤井 克徳

きょうされん専務理事（元あさやけ第二作業所所長）

通算500号とは圧巻です。そして、かつて「あさやけ」に関わった者としては感無量です。十年一昔と言いますが、擁した歳月が45年間ともなると、もはや歴史の域にあるように思います。障害のある人の働く作業所は、今や無数に広がっていますが、定期刊行物を500号重ねたところは他に類をみません。そこには、「あさやけ」の発展の足あとはもちろんですが、小平市の移り変わり、日本の障害関連政策の変遷をも垣間見ることができます。これ自体が、日本の“障害者事情証言集”と言ってもいいのではないのでしょうか。とくに關心のあるのが、500号の中に、一体どれくらいの登場人物が存在しているのかということです。「あさやけ」の営みは、「あさやけ」の価値は、結局は人と人との関係、つながりだったと思います。数えることは不可能です。それでも、読者自身を含め、何人に上るのかを想像してみたいかがでしょう。ゆたかで楽しい想像になるに違いありません。

圧巻の500号ですが、それでもあさやけ史のズームを引いてみると、まだまだ一里塚に過ぎないのです。600号、700号、そして1000号に向けて、あさやけらしい歩みを重ねてください。最後になりますが、編集に携わったみなさんに心より敬意を表します。



■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願ひします。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

12月の廃品回収の回収量は14,650kgでした。内訳は新聞5,580kg、雑誌・ダンボール9,070kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて151,950円でした

次回は2月19日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。